



大好きな平泉寺

わたしたちがご案内します



このまち 伝えたい、勝山のこと

平泉寺小学校 未来の語り部育てる

SDGsの目標

案内の様子
を動画で

「緊張するけど楽しみ」一乗小（福井市）の到着を待つ児童に声をかけると、そんな答えが返ってきました。

11月18日、平泉寺小5、6年生14人が、一乗小（福井市）5、6年生9人を招待し、昨年日本遺産に認定された白山平泉寺の観光ガイドを務めました。

これは、平泉寺小のESDの取り組みの一つ「未来の語り部学習」の一環で行われたもので、地元の歴史、文化を未来に語りつぎ、広く発信することを目的にしています。

石がテーマの日本遺産として、一乗谷朝倉氏遺跡が同時に認定されたことから両校の交流がはじまり、昨年は一乗小が平泉寺小を招き、同遺跡を案内しました。

そのお返しにと、今年は平泉寺小児童が、白山平泉寺の観光ガイドとして一乗小をもてなそうと、6月から市職員を講師に学習とリハーサルを重ね、白山平泉寺の歴史を学びました。

クイズで楽しくご案内

東尋坊跡から旧境内を通り、若宮八幡宮の大杉までを約1時間で巡りました。

平泉寺小児童は、おそろいの法被に身を包み、学んだことをクイズにして出題するなど、楽しめながら案内する工夫をしていました。

一乗小児童も、初めて知る白山平泉寺の歴史に驚きながら「東尋坊はどんなお坊さんだったの」などの質問をし、その理解を深めました。

ESDが盛んな勝山市

平泉寺小は、大好きな平泉寺の魅力をもっと知ってもらおうと、一般の観光客のガイドにも挑戦するそうです。

勝山市では、このような学習により地域愛を持った子どもたちが、持続可能な社会の創り手に育つことを目指し、公立全12小中学校がユネスコスクールに加盟してESDを推進しています。

今までの成果だせた



北坂 閃理さん
(平泉寺小5年)

しゃべり出しや説明資料を出すタイミングを工夫して、うまく説明できました。

観光ガイドはとても楽しかったです。

来年も一乗小との交流が楽しみです。一乗谷のことをたくさん知りたいです。

また来てみたい



小林 一輝さん
(一乗小6年)

平泉寺は、自然と歴史があつて一乗とよく似ていると感じました。平泉寺の中に入ったのは初めてで、御手洗池が印象に残りました。
説明はわかりやすく、クイズで僧兵のやりの指し棒を使ったのが面白かったです。

白山平泉寺の歴史と魅力を学ぶ



6月から約5か月間、市の観光担当職員や学芸員から、白山平泉寺について学んだり、案内のリハーサルの際にアドバイスを受けたりするなどして、観光ガイドとして必要な知識や心構えを養いました。



阿部 来
(市学芸員)

平泉寺の歴史と魅力を学び、自分たちで工夫してPRしようとする姿勢に感動しました。

日本遺産への認定をきっかけに交流がはじまった、一乗谷との連携も楽しみです。



手作りコケリウムをプレゼント



一乗小の児童に喜んでもらおうと、児童たちが自宅の苔や石などを持ちより、恐竜のフィギュアの入った100%平泉寺産の苔のテラリウムを制作。

案内終了後、一乗小児童に手渡されました。

用語解説

E S D Education for Sustainable Development
の略で「持続可能な開発のための教育」と訳される。持続可能な社会づくりの担い手を育む教育
S D G s Sustainable Development Goals
の略で「持続可能な開発目標」と訳される。2030年までに世界中のみんなで目指す17の目標

ユネスコスクール 地球規模の諸問題に若者が対処できるような教育手法の開発・発展を目的に活動

勝山市のESDの歩み

豊かな自然と古い歴史がある勝山市。山岸正裕市長が、平成12年の市長就任から掲げるエコミュージアム（*1）の理念のもと、地域の魅力を発掘・発信する活動が広まりました。

平成21年には市内全域をエリアとする「恐竜渓谷ふくいの勝山ジオパーク」として日本ジオパーク（*2）に認定されるなど、地域の魅力を学ぶ場が豊富です。

このような土地柄から環境教育が盛んで、平成24年5月には第20回環境自治体会議（*3）が当市で開かれ、全国に勝山市の持続可能なまちづくりを発信しました。

その機運に乗り、さらに環境教育を発展させるため、勝山市はESDを推進するユネスコスクールに公立全12小中学校が加盟することを目指し、平成26年4月に承認されました。

また、令和2年2月には、勝山市として地域ESD活動推進拠点に登録。

自治体全体で登録されたのは当市が初めてで、他機関と連携して、ESDやSDGsに関する研修や小中学校での授業づくりを支援しています。

進化を続ける勝山市のESD

勝山市は、持続可能なまちづくりを目指すために、ジオパークにエコミュージアムの理念とSDGsを統合して、地域のまちづくり活動や学習を推進しています。

こうした地域の学習に学校が参加するようになり、ジオパークを学習に取り入れたことで各校のESDは大きく発展しました。

また、教科の学習など学校での様々な活動とSDGsをひもづけることにより、子どもたちがSDGsを学活生活の中で意識することにも取り組み始めました。

SDGsを取り入れた勝山市のESDとジオパークは、相互に連携し、持続可能なまちづくりを推し進める強力なエンジンとなっています。



専門家に

聞きました①



勝山市のESDは、外部からどう評価されているのでしょうか。

広く各地のESDに携わり、勝山市にもご協力いただいている、北陸ESD推進コンソーシアムのコーディネーター 池端弘久さんにお聞きしました。



池端 弘久さん
(北陸ESD推進
コンソーシアム)

全国的なESDの状況は？

日本が提案し国連総会で採択された「持続可能な開発のための教育の10年」が平成17年に始まり、世界的に弾みがつきました。日本のユネスコスクール加盟校は、平成20年に78校だったのが、現在1100校を超え、全国的に盛り上がっています。

今年度から学習指導要領が改定され、ESDやSDGsの精神にあふれたものになり大きく進展しています。

勝山市のESDの特徴は？

勝山市は長年地域学習に取り組

み、ジオパーク学習と融合しています。それを土台に、地域でも持続可能な社会をつくるための課題についての学習が始まっているのが特徴だと思います。

また、全国でも全校がユネスコスクールに加盟するのは珍しいケースで、市を挙げた組織的な取り組みとして注目されていると思います。

勝山市の今後の課題は？

これまで以上に、地域で取り組んできた保全活動などが、ESDやSDGsでどんな価値を持っているのかを理解し、次の段階に進めていくことが非常に大事です。

学校教育では、国内や世界の共通の課題を持つ都市と交流していくことが重要になると思います。

世界は多様性に満ち溢れています。勝山市の外とどういう風に交流していくか、これからの展望に入っていくといいなと思います。

最後に勝山市民にメッセージを

私は、勝山市から流れ出る水が近隣の都市を潤しているイメージを持っています。同じように勝山市で生まれたESDやSDGsの新しい風が遠くの地域へ届けばと思います。

*1 まち全体を屋根のない博物館とみなすまちづくりの取り組み
*2 現在「持続可能な地域創造ネットワーク」として活動

*3 大地（ジオ…Geo）の公園（パーク…Park）

を意味し、地球を学び、丸ごと楽しむことができる場所

各校取り組みの一例をご紹介します



11月19日、3年3組の生徒25人が、SDGsを取り入れた社会科の授業を受けました。

伊豆蔵教諭が財政の仕組みを説明したのち、第5次勝山市総合計画の6つの基本的視点にSDGsの目標をあてはめ「大事だと思うものを3つ選び、その理由を考えてください」と生徒に指示。

6つのグループに分かれた生徒は、どうすれば住みやすいまちになり、人口減少を抑えられるかを真剣に話し合いました。



勝山南部中学校



伊豆蔵 和貴教諭

SDGsを授業に取り入れるメリットは、複雑なことを簡単に焦点化して考えられることです。

生徒たちが社会に関心を持ち、自分事としてとらえるための思考ツールとして利用していきたいです。



和田 倅奈さん (3年)

総合計画のアンケートで雪が多いことに市民が困っていることが分かり「13気候変動に具体的な対策を」の達成に取り組むことが住み続けられるまちづくりにつながると考えました。

みんなで勝山市のことを考えるのは楽しかったです。

勝山中部中学校



伝統的に行われている浄土寺川とその周辺地域を舞台にした地域環境調査美化活動に今年度も取り組みました。

環境美化委員会が中心となって企画し、全校生徒に「協働」と「地域への貢献」を投げかけました。暑い中でしたが、全校生徒が地域の環境を次の世代につなぐことを意識して取り組むことができました。



勝山北部中学校



例年、「服の力プロジェクト」に参加しています。今年度も、1年生がSDGsに取り組む企業の一つであるGUの方に来ていただき、プロジェクトの概要を伺ったり質問をしたりしました。

今後は資源回収などを通して服を回収し、世界の生活に困っている方に服を届けるこのプロジェクトに本格的に参加していきます。



成器南小学校



雪室を見学

校区内の食について調査。おいしい食材を生産する生産者に話を聞いたり、食材を貯蔵している雪室を見学したりしました。



成器西小学校



浄土寺川の水質調査

校区を流れる浄土寺川で、ホタルが多く飛び交う理由を調べるために、環境指標生物をもとに水質検査にチャレンジしました。



村岡小学校



斜面の下草刈り

地域の環境団体と協力し、今年もミチノクフクジュソウ保全活動に参加。下草刈りや保護を呼び掛ける看板を作成しました。



三室小学校



三室川の水生生物調査

校区を流れる三室川の水生生物調査を実施し、昨年の結果と比較。継続調査で新発見や疑問が生まれてくることに期待しています。



野向小学校



特産のエゴマを学習

野向町でエゴマづくりが盛んな理由を地域住民に話を聞き調査。自分たちがエゴマづくりに対して何ができるかを考えました。



荒土小学校



WEB会議で交流

台湾の小学校と交流し、アートマイルプロジェクトに挑戦。新型コロナウイルス感染症について調べ、共同で壁画を制作します。



鹿谷小学校



昔の道具で田植え

生産組合の方に教わりながら、昔ながらの道具の使い方や苗の植え方を教わり田植えに挑戦。9月に無事収穫できました。



北郷小学校



畝見川の水生生物調査

校区に流れる畝見川を調査。そこに生息する動植物が生きやすい環境について考え、川の環境保全活動を行っていきます。



小中だけでは終わらない 勝高生の「勝山人学習」



かっちゃん創生プランを市長に提案

市内にある県立勝山高校では、平成30年度から、生徒に地元のことを知ってもらう総合学習「勝山人」をスタートさせました。この学習は高校の3年間を通じて行われ、1年次は地域について学び、2年次は勝山市と他地域を比較、3年次に地域課題の解決や活性化策を「かっちゃん創生プラン」として発表します。

この学習には勝山市も協力し、職員が生徒の質問に答えたり、生徒がまとめたプランにアドバイスなどをしています。

校内の発表で優秀だったプランは、磨きをかけて市長に直接提案されます。



中学生が施策提案



中学生のまちづくりへの参画
を市長に直接提案する生徒

平成29年度から、中学生と市長と語る会を開催。各校生徒会が生徒の意見をまとめ、市長に直接まちづくりの施策を提案します。



N I E で活動発信



新聞記事からフードロスについて考える村岡小児童

今年度から、教育に新聞を活用するN I Eの取組を全小中学校が開始。新聞を通じて地域や社会について学び活動を発信します。



専門家に 聞きました②



地球科学の専門家として、各小中学校でジオパーク学習などの講師も務める町澄秋学芸員に、ESDとジオパークの関係を聞きました。



町 澄秋
(市学芸員)

勝山市は全国に43ある日本ジオパークの一つです。

ジオパーク活動の3つの柱は①保護・保全②教育・研究③持続可能な開発で、ESDとの親和性が高く、各校のESDにはジオパーク活動が取り入れられています。

ESDにおいて、ジオパークが果たせる役割は大きいのです。

大地の活動を理解し、その上に育まれた生態系、さらにはそれらを利用した歴史・文化・産業との関係を理解することは、持続可能な社会という概念を理解するためにもとても大切です。

それを教室だけで学ぶのではなく、実際に野外に出て、勝山にある大地の遺産を「見て、触れて、感じて学ぶ」



恐竜化石発掘現場を
見学する成器西小児童

活動をジオパークとして取り組んでいます。このことを通して、自分たちが暮らす勝山への理解も深まり、郷土愛の醸成にもつながるでしょう。また、地球の歴史を扱うことで、時間スケールの理解にもつながります。気候変動や自然災害は、人間の時間スケールだけでは捉えきれません。「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉もそれを物語っています。気候変動も人間が意識をしない間に少しずつ変化してきたために、目を向けづらかった側面もあります。持続可能な世界を目指すには、長い時間スケールで世界を見ることが大切なのです。

ジオパークだからと言って、地質や地形の学習をしているわけではありません。このような活動を通して、少しずつ意識変えていくことで、将来を担う「地球に寄り添って生きられる人」を育むことに繋がればと考えています。



小さくてもキラリと光る このまち 勝山が好き

持続可能な勝山目指して

荒土小が9月に開いた「荒土の名所めぐり」で、荒土町堀名の日吉神社には水晶が落ちていたと聞いた児童たちが、神社の中を探すと、実際にたくさんの水晶が見つかりました。

昔、この神社は、裏山にある堀名銀山で採れた銀の選別所であったため、選別の際に捨てられた水晶が今でも残っているそうです。

水晶を見つけた児童たちが大喜びで「近所の神社で水晶が見つかるなんてすごい」「友達に教えてあげたい」と話すのを聞いて、ESDが子どもたちの地域愛につながっているのを実感しました。

市教育委員会が、昨年度、市内の小学3年～中学3年を対象にとったアンケートによると、約9割が「住んでいる地域が好き」「地域に誇れるものがある」と答えています。

また、約8割が「地域の役に立ちたい」と考えています。

勝山市が全市をあげて取り組んでいるESDの推進により、確実に子どもたちの中には地域愛と持続可能なまちづくりにつながる考え方が根付いています。

子どもたちが持続可能な社会の創り手として羽ばたけるよう、勝山市は全力でサポートしていきます。



勝山市の
ESD情報
はこちら



勝山市長選挙 新市長に水上実喜夫氏



11月29日、任期満了による勝山市長選挙が行われ、即日開票の結果、水上実喜夫氏（61）＝野向町北野津又＝が初当選しました。

任期は12月26日からの4年間です。

勝山市長選挙開票結果（敬称略）

水上実喜夫（61）無所属	＝野向町北野津又＝	7,291票
松村 治門（52）無所属	＝北郷町坂東島＝	5,995票
有権者数 19,293人	投票者数 13,494人	
投票率 69.94%	無効票 208	



12月1日、水上氏に、市選挙管理委員会の牧野敏孝委員長が当選証書を付与

〒勝山市選挙管理委員会（総務課内） ☎88 - 1116

対象者
20歳～
59歳

国民年金加入の 手続きをお忘れなく！

国内にお住まいの20歳以上60歳未満の方は、国民年金（基礎年金）への加入が義務付けられています。

●いつ国民年金に加入するの？

- ①20歳になったとき（厚生年金加入者を除く）
※20歳の誕生日から概ね2週間以内に日本年金機構より「国民年金加入のお知らせ」が本人に届きます（手続きは不要です）
- ②仕事をやめたとき
- ③配偶者の扶養から外れたとき

●国民年金は3パターンで暮らしを支援

- ①「老齢基礎年金」は老後の生活を支援
- ②「障害基礎年金」は病気やケガで障害を負った方の生活を支援
- ③「遺族基礎年金」は加入者が亡くなったときに子のある妻または子の生活を支援

対象者
60歳～
64歳

任意加入制度を ご存知ですか？

年金

60歳を過ぎた方でも、「60歳から65歳未満」の5年間、国民年金の保険料を納めることで、老齢基礎年金額を増やすことができる「任意加入制度」があります。

●任意加入は次の条件を全て満たす方

- ①国内に住所がある60歳以上65歳未満
- ②老齢基礎年金の繰上げ支給を受けていない方
- ③20歳以上60歳未満までに保険料の納付月数が480月（40年）未満の方

●加入できる期間

60歳の誕生日の前日から65歳の誕生月の前月末まで（加入日は申込日）

※納付方法は口座振替が原則です

年金加入記録などの確認は
「ねんきんネット」



岡市民・税務課 ☎88-8102

福岡年金事務所 ☎0776-23-4518

新型コロナウイルス感染症 第3波の今、できること

感染リスクを下げて会食

年末年始が近くなり、忘年会や新年会、親せきの集まりなど会食の機会が増える時期です。

会食に参加する場合は、「感染リスクを下げる工夫」をして楽しみましょう。

飲酒をする場合

- ①少人数・短時間で
- ②なるべく普段一緒にいる人と
- ③深酒・はしご酒は控え、適度な酒量で



箸やコップは使いまわさない

座席の配置は斜め向かいに

会話するときはなるべくマスク着用

扇子やハンカチ、おしぼりなどで口元を覆う

体調が悪い人は参加しない

開催時期を分散させる

12月下旬に集中させない

「感染予防推進宣言」
ステッカーのある
お店を利用



感染リスクが高まる 「5つの場面」に注意

場面1 飲酒を伴う懇親会等

大きな声を出さない、回し飲みをしない

場面2 大人数や長時間におよぶ飲食

4人以下、短時間に抑えて

場面3 マスクなしでの会話

車中でも注意が必要

場面4 狭い空間での共同生活

共用部分は特に注意を

場面5 居場所の切り替わり

休憩室や喫煙所などでも気を抜かないで

感染対策の再徹底を



- ・マスクの着用
- ・咳エチケット
- ・定期的な換気



- ・こまめな手洗いと消毒
- ・毎日の検温など
体調管理



- ・人との間隔は1 m以上
確保



メモリーナ紫苑（滝波町5）を運営する㈱パシオンより寄附いただきました。

（株）パシオンより寄附



「環境保全活動支援に役立ててください」と、20万円を寄附いただきました。

越前信用金庫より寄附

ありがとうございます
ございました